



2023年2月20日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

機能性ペプチド「AJP001」の用途特許成立（韓国）のお知らせ ～抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術に活用～

当社の抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術に利用している機能性ペプチド「AJP001」の用途特許（以下、「本特許」）が韓国において成立し、この度、韓国特許庁から特許公報が発行されましたのでお知らせします。

本特許は、AJP001 の抗体誘導ペプチド投与時に必要な免疫反応を活性化する用途等を保護する特許です。

【発明の名称】 新規ペプチドおよびその用途
【出願人】 国立大学法人大阪大学^(注)
【特許番号】 10-2498220

(注) 当社子会社のアンチエイジングペプチド株式会社は、本特許について国立大学法人大阪大学から独占的通常実施権の許諾を受けています。

抗体誘導ペプチドは、患者様の体内で抗体産生を誘導することにより治療効果を期待するペプチド治療ワクチンです。

バイオ製造施設で製造する抗体医薬品とは異なり、抗体誘導ペプチドは化学合成で製造することが可能なため製造コストを抑制できます。さらに投与後は患者様の体内で免疫細胞が一定期間持続的に抗体を産生するため、薬剤投与間隔も長いことが期待されます。この特徴により、当社は、高額な抗体医薬品に対して医療費を抑制できる代替医薬品として抗体誘導ペプチドを開発し、先進国で深刻化する医療財政問題の解決や患者様の負担軽減に貢献していきたいと考えております。

当社は、大阪大学大学院医学系研究科の研究成果である機能性ペプチド「AJP001」を強みとする抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術を活用して炎症性疾患やアレルギー性疾患等の慢性疾患に対する治療ワクチン「抗体誘導ペプチド」の創薬研究を進めており、これまでに標的タンパク質 IL-17A に対する抗体誘導ペプチド「FPP003」及び標的タンパク質 IL-23 に対する抗体誘導ペプチド「FPP005」を創生して医薬品開発を進めております。これらの開発品については、世界展開を視野に入れて開発を進めております。

本特許成立は、2023年12月期の業績に影響を与えるものではありませんが、既に特許が成立している日本、米国、欧州及び中国に続き、韓国でも本特許の実施について独占排他権が認められたことを意味し、AJP001 を含有する抗体誘導ペプチドの開発プロジェクトを強力にサポートするものです。

以上